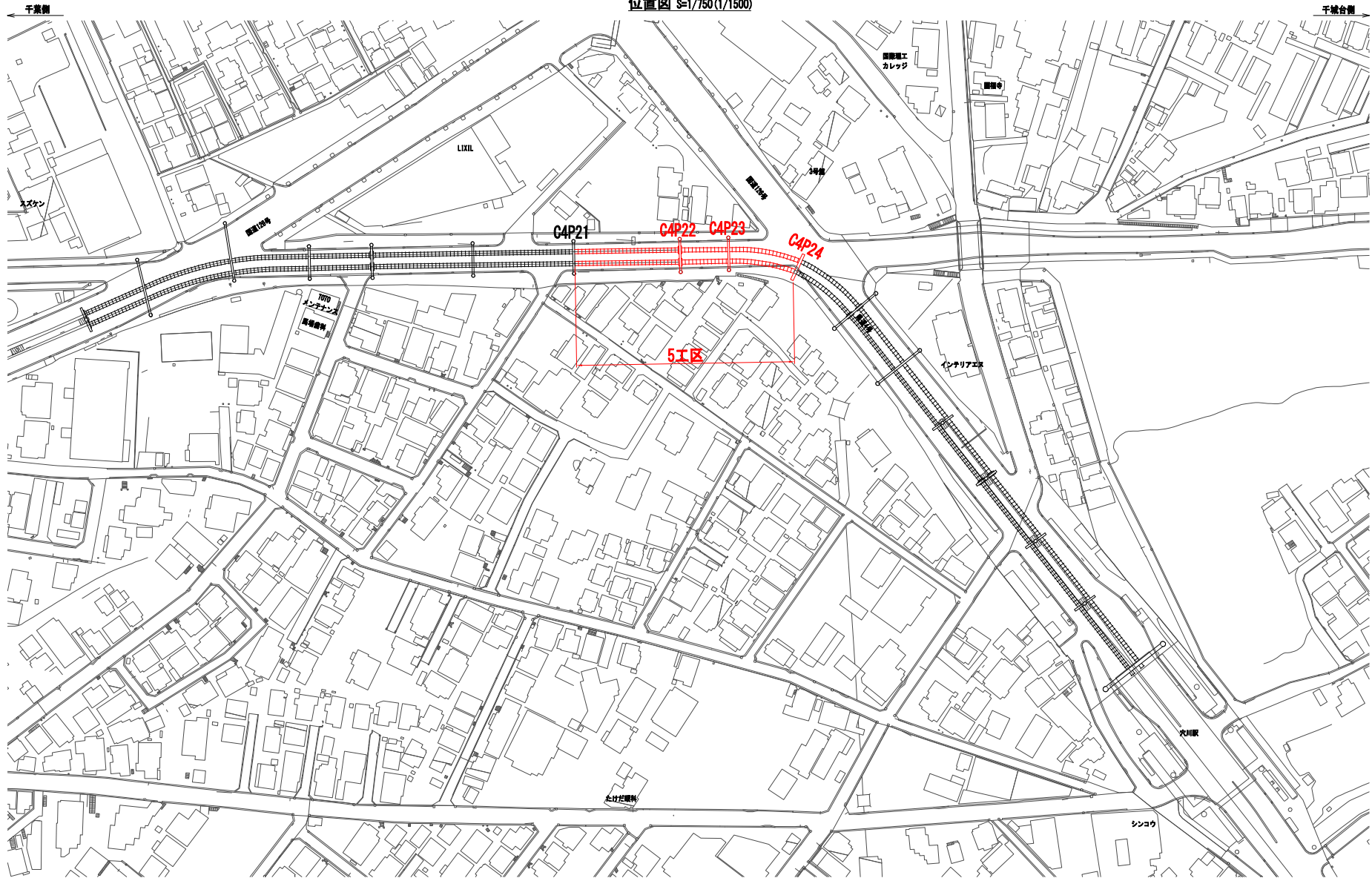


塗替塗装工事位置図-1
(5工区)

位置図 ③=1/750 (1/1500)

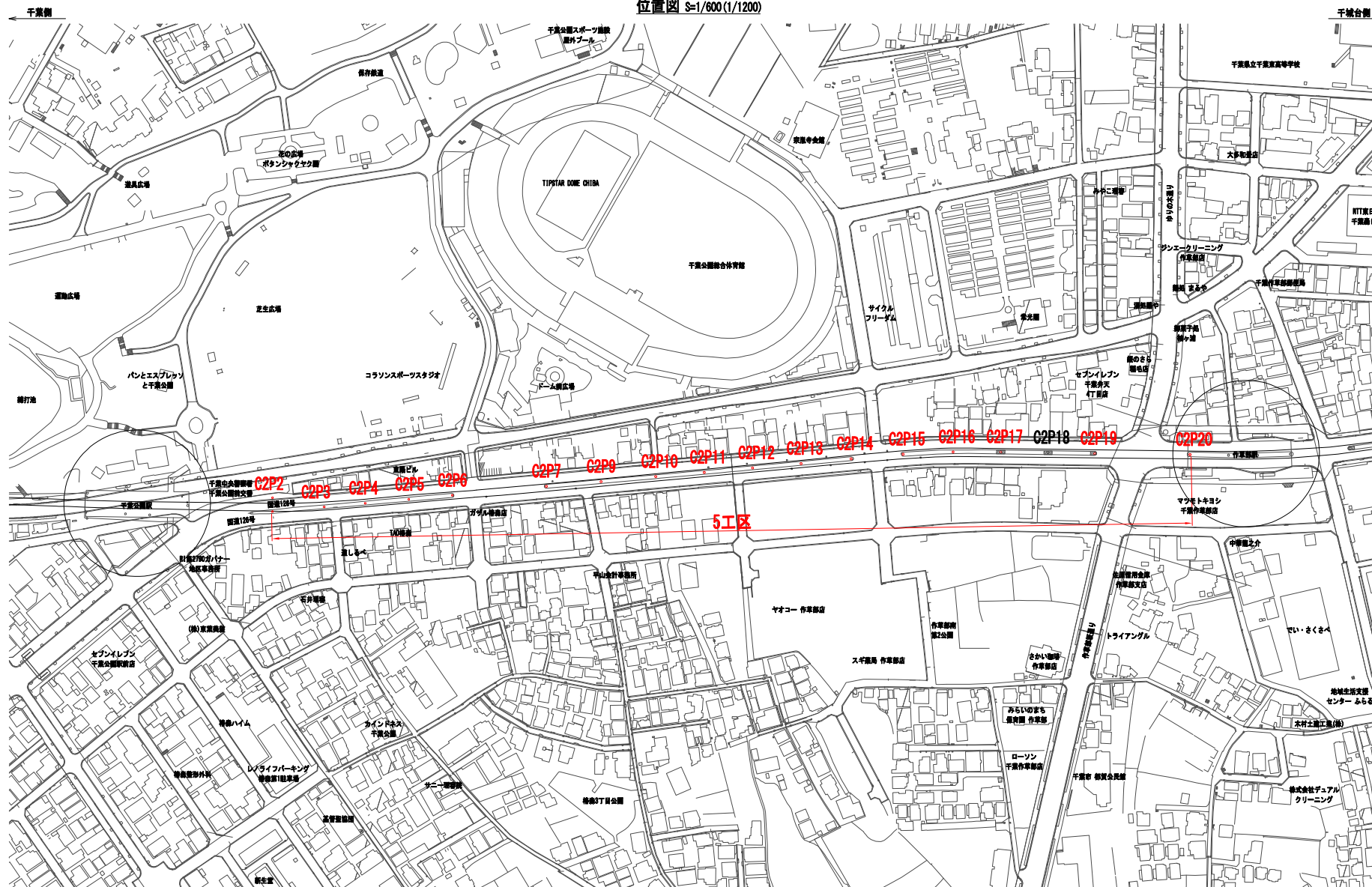


注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。

千葉都市モノレール株式会社				管理	調査	設計	工事実施	千葉都市モノレールインフラ修繕塗装工事 (5工区)	図面名称	塗替塗装工事位置図-1	縮尺	1/750	ページ	1
							工事実施							

位置図 S=1/600(1/1200)

位置図 S=1/600(1/1200)



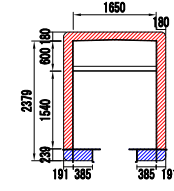
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。

日		千葉都市モノレール株式会社	管理	調査	調査	工事名称	千葉都市モノレールインフラ整備管理統括工事 (5工区)	調査名称	整備管理工事位置図-2	図面 番号	1/750	2
	工事内容											

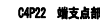
C4G8D s=1/150 (1/300)



C4P21 中間支点部



落橋防止装置 $S=1/20(1/40)$



素地調整	4層
以下	
補修塗	素地調整経減剤 100g/m ² 、はけ、ロー
3日	
下塗1層目	触媒抑制型弱溶剤性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
10日	
下塗2層目	触媒抑制型弱溶剤性エポキシ樹脂塗料（赤褐色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
10日	
中塗	弱溶剤ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
10日	
上塗	弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲(昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業)

- (1) 内蔵尺は、A3サイズ出力時を示す。
- (2) 施工にあたっては、現地に計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- (3) 図中の修繕計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、特に監督員の指導を十分受けること。
- (4) 養地調整軽減率は、舗道13%と、舗道のc値の使用とする。なお、支床、添接板、桁端部及びボルト部にについては全体的に減量が確認されていることから、養地調整軽減率を支床全面、添接板全面と周囲100mm(かけ足)減量とする。
- (5) 養地期間は、気温20℃の場合について記載する。
- (6) 高麗等において減量が確認された場合、防水テープにて修繕後、塗装すること。また、欠損箇所において監督員に報告すること。
- (7) 軌道桁端部に設置されるあるべき差孔において、詰まりや漏水が確認されている場合は、調整後に水抜きを設置すること。

C4G8U S=1/150 (1/300)



C4P21 中間支点部



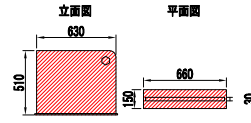
C4P22 端支点部



C4P22 端支点部



C4P21 中間支点部



素地調整	4層
以下	
補修塗	素地調整経減剤 100g/m ² 、はけ、ロー
3日	
下塗1層目	刺激抑制型弱溶剤性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
10日	
下塗2層目	刺激抑制型弱溶剤性エポキシ樹脂塗料（赤褐色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
10日	
中塗	弱溶剤ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
10日	
上塗	弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲(昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲(夜間施工・一般部・高車作業)

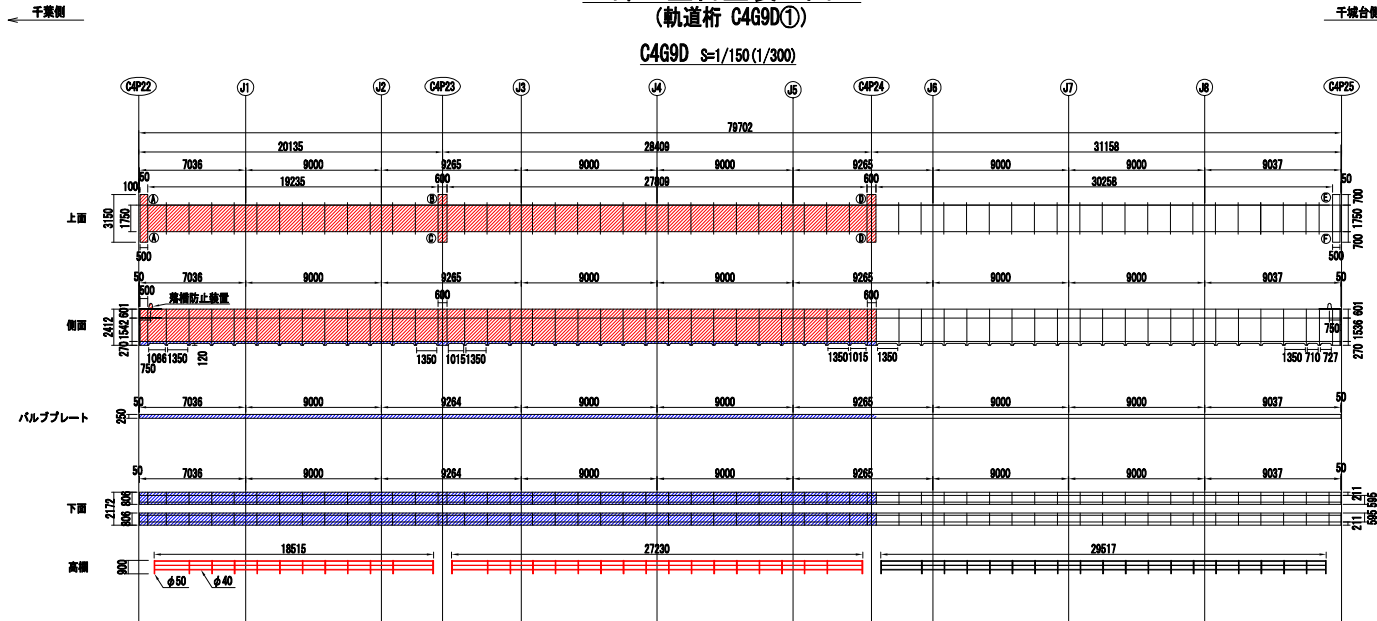
注記)

- (1.) 内蔵尺は、43サイズ出力時を標準とする。
- (2.) 施工にあたっては、現地に於て計画を行った上で形状寸法を標準すること。
- (3.) 図中の補修計画は、既存基礎データ及び基礎設置に達つてのもであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、設計者の了承を得た上で行うこと。
- (4.) 素地調整軽減率は、節部13%と、節部10%のみ使用する。なお、支索、添接板、桁端部及びボルト部については全体的に減量が確認されていることから、素地調整軽減率を支索全面、添接板全面と周囲100mm(かけ)を算定すること。
- (5.) 塗装間隔は、気温20℃の場合について取定する。
- (6.) 高欄面において露食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損部において監督員に報告すること。
- (7.) 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認された場合は、調整等にて水抜きの処理をすること。

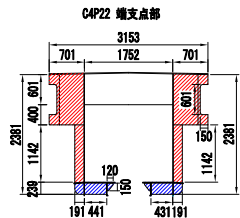
上部工塗替塗装工図-3

(軌道橋 C4G9D①)

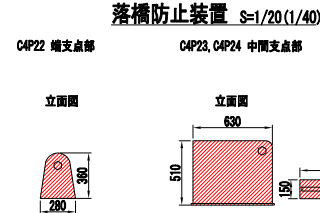
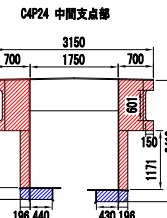
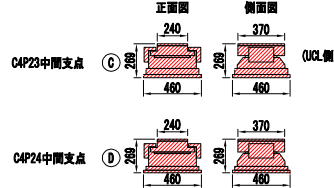
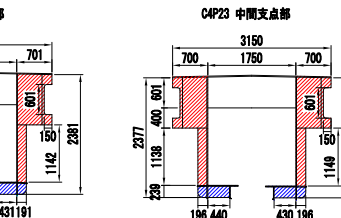
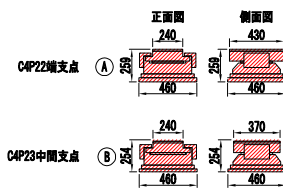
C4G9D S=1/150(1/300)



断面図 S=1/50(1/100)



支承 S=1/20(1/40)



塗装仕様 (一般部)

表 示	塗 装 仕 様
素地調整	4種
4時間以内	素地調整経減剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	剥離抑制型弱溶剤性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	剥離抑制型弱溶剤性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
1日～10日	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗
1日～10日	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗
1日～10日	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.6Y 7.5/1)
1日～10日	120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)	
塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)	

注記)

- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整経減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支梁、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整経減剤を全梁全添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
- 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されている場合は、管線等にて水抜き孔の処置をすること。

千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ修繕管理課 (5工区)

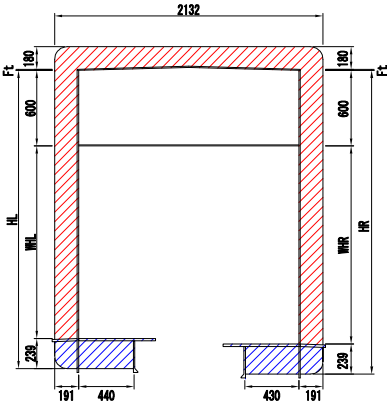
上部工塗替塗装工図-3

図示 5

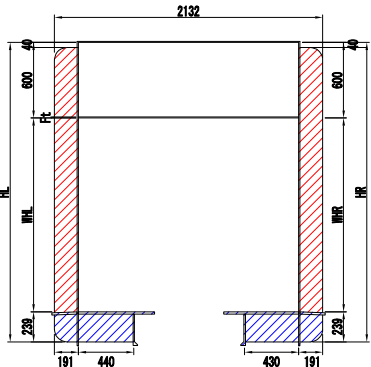
上部工塗替塗装工図-4
(軌道橋 C4G9D②)

補剛リブ S=1/20 (1/40)

[C2～C11, C14～C29, C39～C49]



[C1, C12, C13, C30, C31, C50]



(mm)					
格点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C1～C8	9	1540	2410	1540	2410
C9	9	1540	2410	1541	2411
C10	9	1539	2409	1542	2412
C11	9	1539	2408	1544	2414
C12	9	1537	2407	1547	2416
C13	18	1535	2405	1550	2419
C14	9	1535	2405	1551	2421
C15	9	1534	2404	1556	2423
C16	9	1533	2403	1554	2424
C17	9	1532	2402	1556	2426
C18	9	1531	2401	1557	2427
C19	9	1530	2400	1559	2429
C20	9	1530	2400	1561	2431
C21	9	1529	2399	1562	2432
C22	9	1528	2398	1564	2434
C23	9	1527	2397	1566	2436

(mm)					
格点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C24	9	1526	2396	1567	2437
C25～C29	9	1525	2395	1569	2439
C30	20	1525	2395	1569	2439
C31～C39	9	1525	2395	1569	2439
C40	9	1526	2396	1568	2438
C41	9	1527	2397	1567	2437
C42	9	1528	2398	1565	2435
C43	9	1528	2398	1563	2433
C44	9	1529	2399	1562	2432
C45	9	1530	2400	1560	2430
C46	9	1531	2401	1558	2428
C47	9	1532	2402	1557	2427
C48	9	1532	2402	1555	2425
C49	9	1533	2403	1553	2423
C50	16	1534	2404	1553	2423

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整軽減剤	100g/㎡、はけ、ローテ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローテ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローテ
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ローテ
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ローテ

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

- 【注記】
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支梁、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支梁全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、高欄等にて水抜き孔の処置をすること。

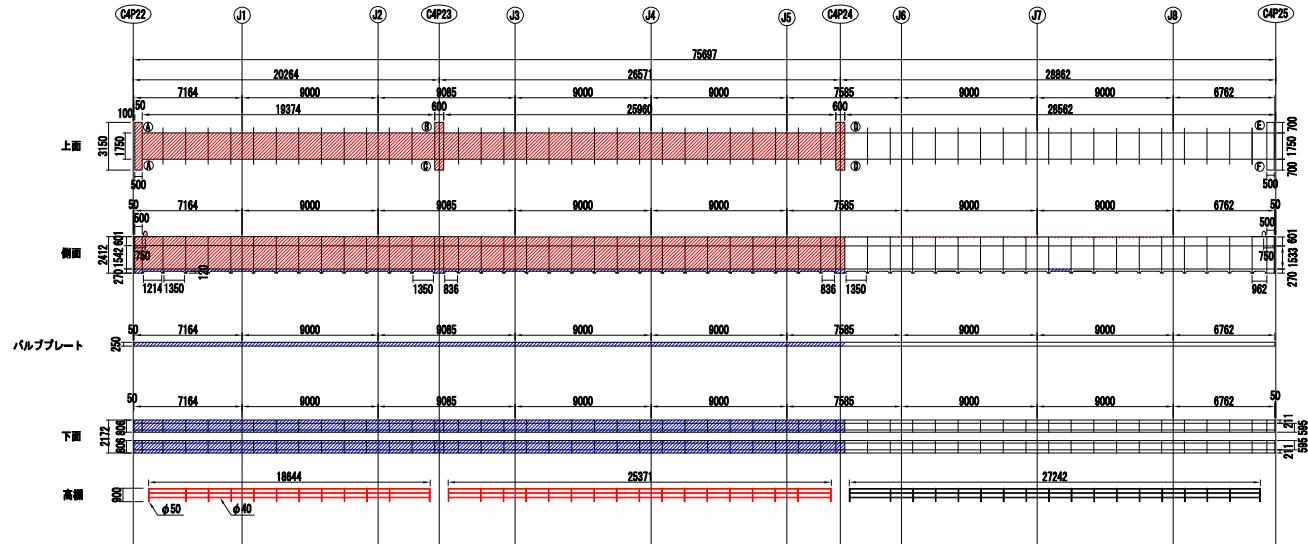
上部工塗替塗装工図-5

(軌道橋 C4G9U①)

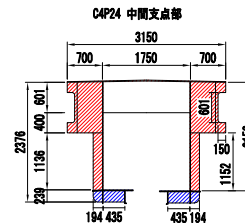
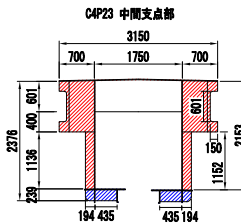
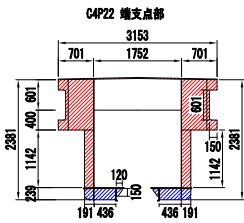
C4G9U S=1/150(1/300)

千葉側 ←

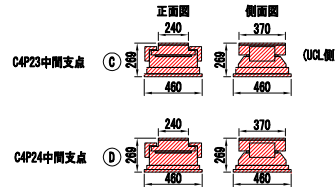
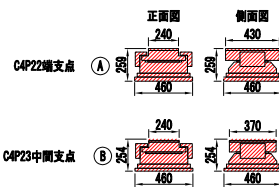
→ 千城台側



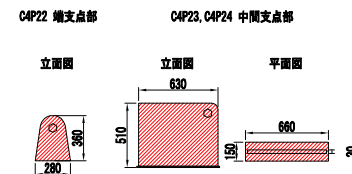
断面図 S=1/50(1/100)



支保 S=1/20(1/40)



落橋防止装置 S=1/20(1/40)



塗装仕様（一般部）

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

凡例

表示	塗装仕様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

注記）

- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支保、添板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整剤を全支保、添板、添板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
- 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されている場合は、高欄等にて水抜き孔の処置をすること。

千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ整備推進工務

(5工区)

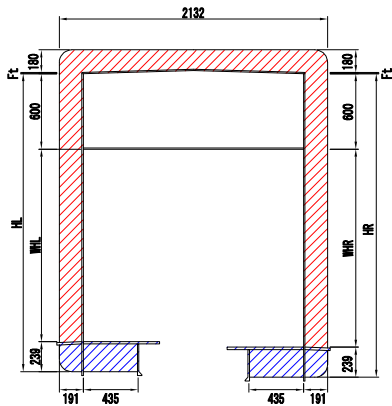
上部工塗替塗装工図-5

7

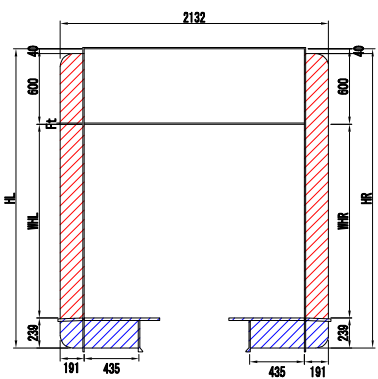
上部工塗替塗装工図-6
(軌道桁 C4G9U②)

補剛リブ S=1/20 (1/40)

[C2～C11, C14～C29, C39～C49]



[C1, C12, C13, C30, C31, C50]



(mm)					
格点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C1～C8	9	1540	2410	1540	2410
C9	9	1540	2410	1541	2411
C10	9	1538	2408	1543	2413
C11	9	1537	2407	1546	2416
C12	9	1537	2406	1548	2418
C13	16	1534	2404	1553	2423
C14	9	1532	2402	1555	2425
C15	9	1531	2401	1558	2426
C16	9	1530	2400	1560	2430
C17	9	1529	2399	1562	2432
C18	9	1528	2398	1565	2435
C19	9	1526	2396	1567	2437
C20	9	1525	2395	1569	2439
C21	9	1524	2394	1572	2442
C22	9	1523	2393	1574	2444

(mm)					
格点	Ft	WHL	HL	WHR	HR
C23	9	1522	2392	1577	2447
C24	9	1520	2390	1579	2449
C25～C28	9	1519	2389	1581	2452
C29	18	1519	2389	1581	2451
C30～C37	9	1519	2389	1581	2451
C38	9	1520	2390	1579	2449
C39	9	1522	2392	1577	2447
C40	9	1523	2393	1574	2444
C41	9	1524	2394	1572	2442
C42	9	1525	2395	1570	2440
C43	9	1526	2396	1567	2437
C44	9	1528	2398	1565	2435
C45	9	1529	2399	1563	2433
C46	9	1530	2400	1560	2430
C47	9	1531	2401	1558	2428

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
	補修塗	素地調整軽減剤 100g/㎡、はけ、ローテ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローテ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/㎡、60μ/回、はけ、ローテ
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/回、はけ、ローテ
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/㎡、25μ/回、はけ、ローテ

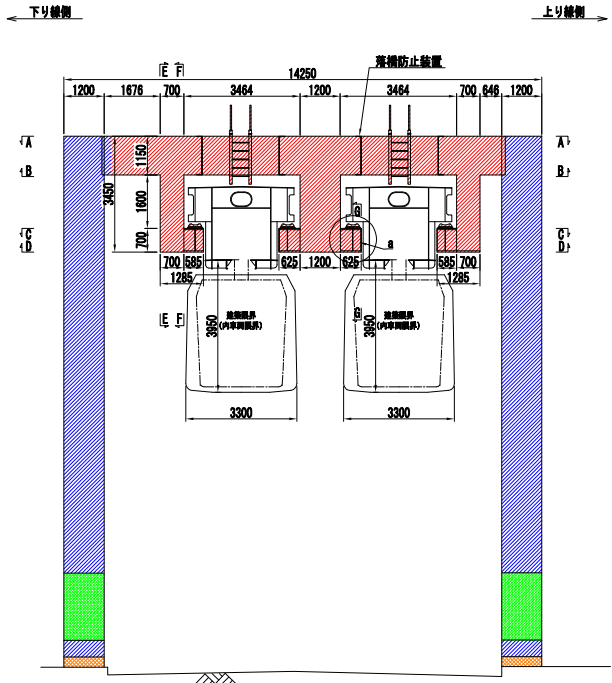
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

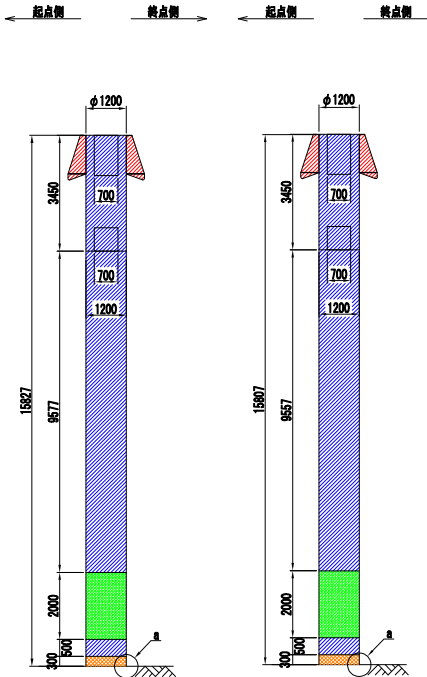
- 【注記】
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支梁、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支梁全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、高欄等にて水抜き孔の処置をすること。

下部工塗替塗装工図-1
(支柱 C4P22①)

正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150) 側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整経減剤	100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤実性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤実性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
1日～10日	中塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)

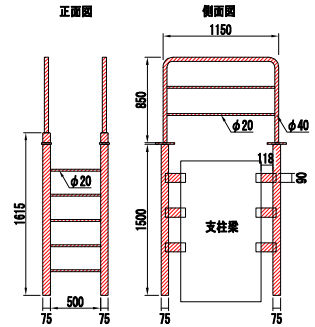
塗装仕様 (落書き防止)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整経減剤	100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤実性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤実性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
1日～10日	中塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)
2日～7日	クリヤー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリヤー

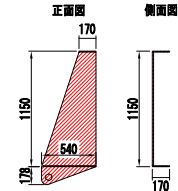
塗装仕様 (基部)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整経減剤	100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ
直ちに～7日	下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料
3時間～7日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)

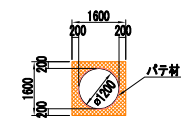
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



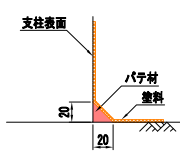
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



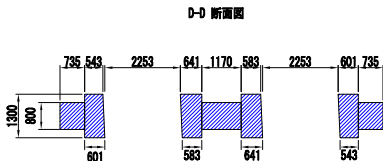
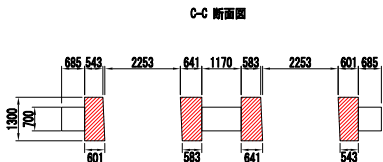
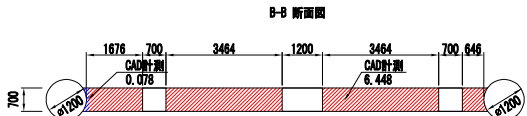
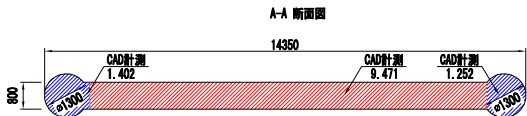
- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づいたものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整経減剤は、前部13%とし、前部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
- ・中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道橋・支柱と同色)
- ・歩道部・施設部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

凡 例

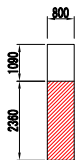
表 示	塗 装 仕 様
塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)	
塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)	
塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)	
塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)	

下部工塗替塗装工図-2
(支柱 C4P22②)

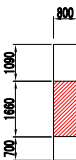
断面図 S=1/75(1/150)



E-E 断面図



F-F 断面図



G-G 断面図



塗装仕様 (一般部)

素地調査	4曜
4時間以内	
補修塗	素地調査乾減剤 100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-7

塗装仕様 (落書き防止)

素地調査	4曜
4時間以内	
補修塗	素地調査乾減剤 100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-7
2日～7日	
クリヤー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリヤー 80g/m ² 、15μ/回、はけ、R-7

塗装仕様 (基部)

素地調査	4曜
4時間以内	
補修塗	素地調査乾減剤 100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	
パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m (鋼/コンクリート接合部のみ)
直ちに～7日	
下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、R-7
3時間～7日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、はけ、R-7

凡 例

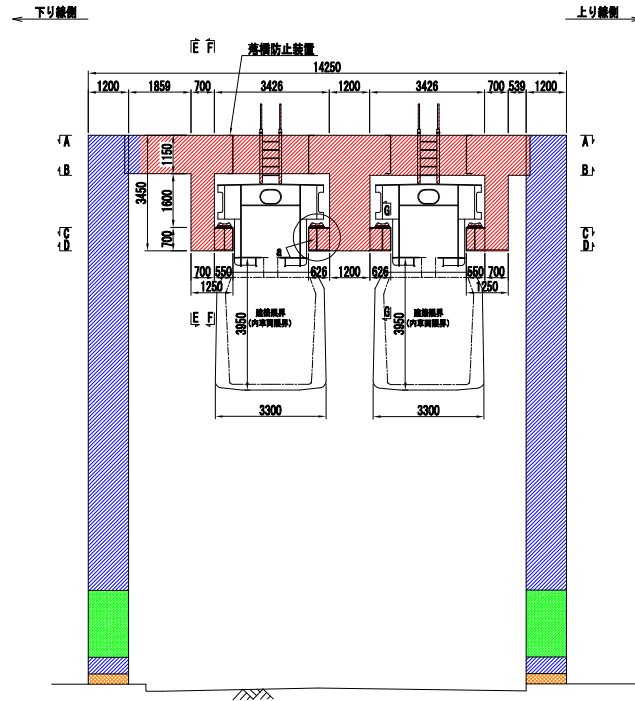
表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

注記

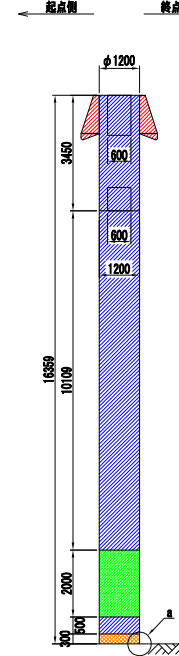
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於て計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調査乾減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、御殿場等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の錆跡上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - 中央分層帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - 歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

下部工塗替塗装工図-3 (支柱 C4P23①)

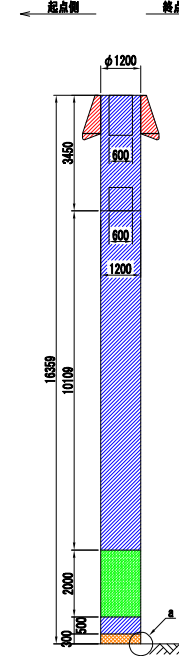
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4層
4時間以内	補修塗
3時間~3日	下塗1層目
1日~10日	下塗2層目
1日~10日	中塗
1日~10日	上塗

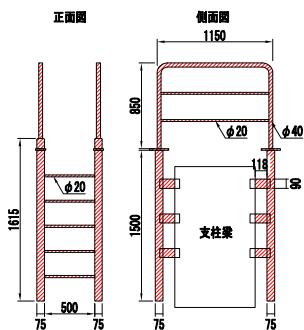
塗装仕様 (落書き防止)

素地調整	4層
4時間以内	補修塗
3時間~3日	下塗1層目
1日~10日	下塗2層目
1日~10日	中塗
1日~10日	上塗
2日~7日	クリアー

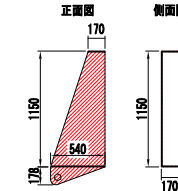
塗装仕様 (基部)

素地調整	4層
4時間以内	補修塗
3時間~3日	下塗
直ちに~7日	中塗
3時間~7日	上塗

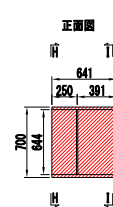
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



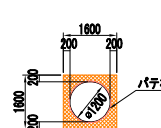
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



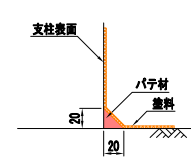
a部詳細図 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



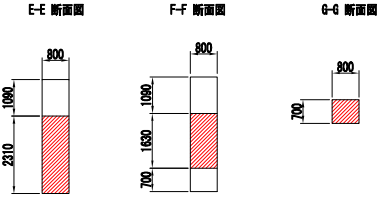
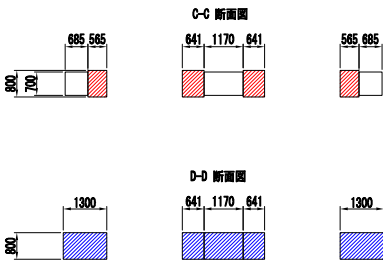
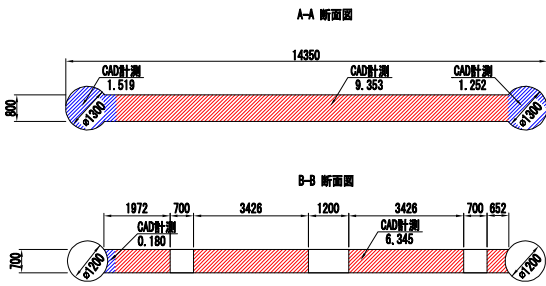
- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整剤は、気温20℃の場合について記載する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、欄外等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - 中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - 歩道部・護欄部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
(赤色)	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
(青色)	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
(緑色)	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
(黄色)	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

下部工塗替塗装工図-4
(支柱 C4P23②)

断面図 S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整経減剤	100g/m ² 、はけ、D-7
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤水性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤水性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
1日～10日	中塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)

塗装仕様 (落書き防止)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整経減剤	100g/m ² 、はけ、D-7
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤水性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤水性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
1日～10日	中塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)
2日～7日	クリヤー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリヤー

塗装仕様 (基部)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整経減剤	100g/m ² 、はけ、D-7
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ
直ちに～7日	下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料
3時間～7日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)

凡 例

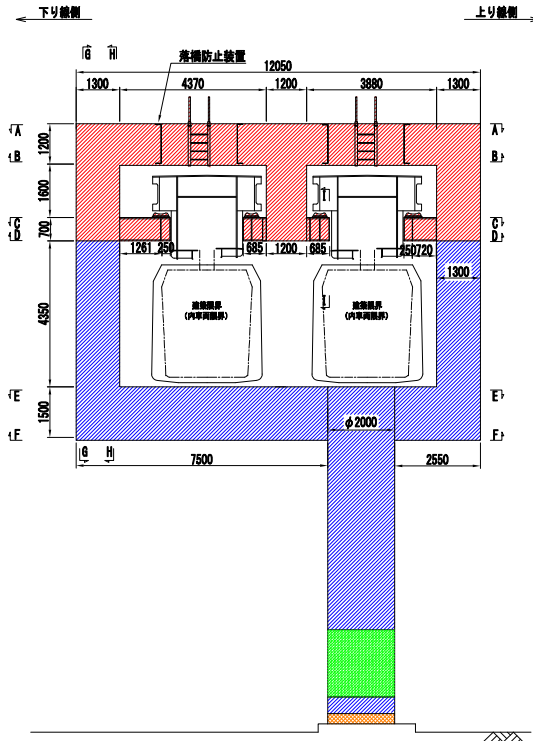
表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整経減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について配膳する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、欄外欄等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下配塗装色とすること。
・中央分層帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
・歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

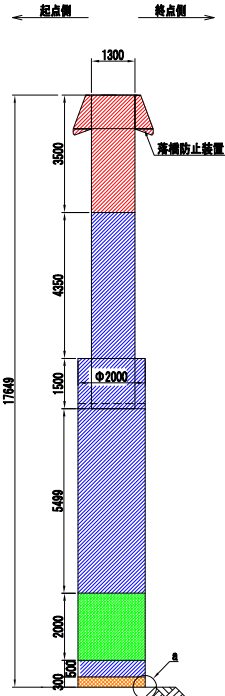
下部工塗替塗装工図-5

(支柱 C4P24)

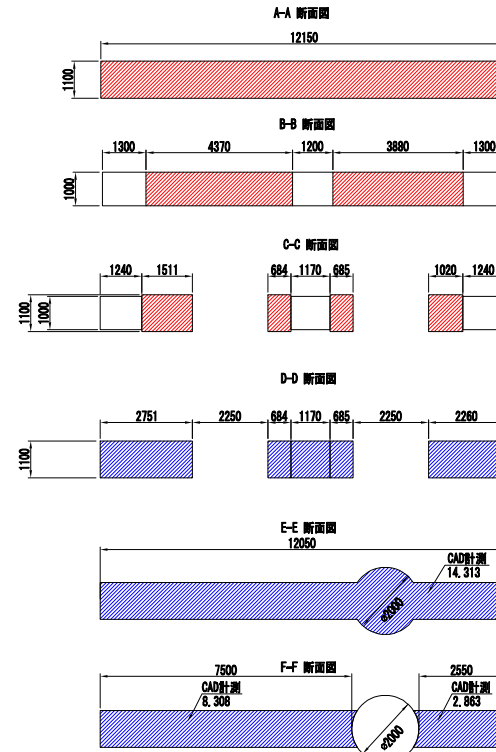
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図 S=1/75 (1/150)



断面図 S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整乾膜剤	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	下塗1層目	耐溶剤型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	下塗2層目	耐溶剤型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤褐色)
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)

塗装仕様 (落書き防止)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整乾膜剤	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	下塗1層目	耐溶剤型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
1日～10日	下塗2層目	耐溶剤型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤褐色)
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)
2日～7日	クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー

塗装仕様 (基部)

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整乾膜剤	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ
直ちに～7日	下塗	流乾型厚膜形エポキシ樹脂塗料
3時間～7日	上塗	耐溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)

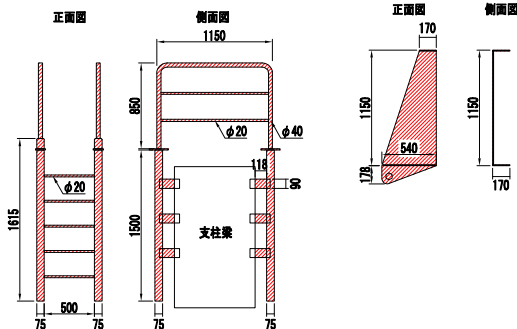
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
(Red hatched)	塗装範囲 (風間施工・一般部・足場作業)
(Blue hatched)	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
(Green hatched)	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
(Orange hatched)	塗装範囲 (風間施工・基部・地上作業)

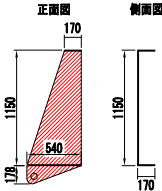
注 記

1. () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
4. 素地調整乾膜剤は、割合13%とし、錆部にのみ使用する。
5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
6. 支柱に貼付されている番号表示、標識等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
7. 支柱基部対策工法の補修上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央部帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - ・歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

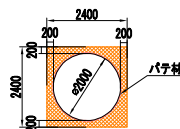
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



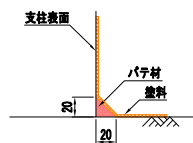
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a 部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



千葉都市モノレール株式会社

管理

設計

監理

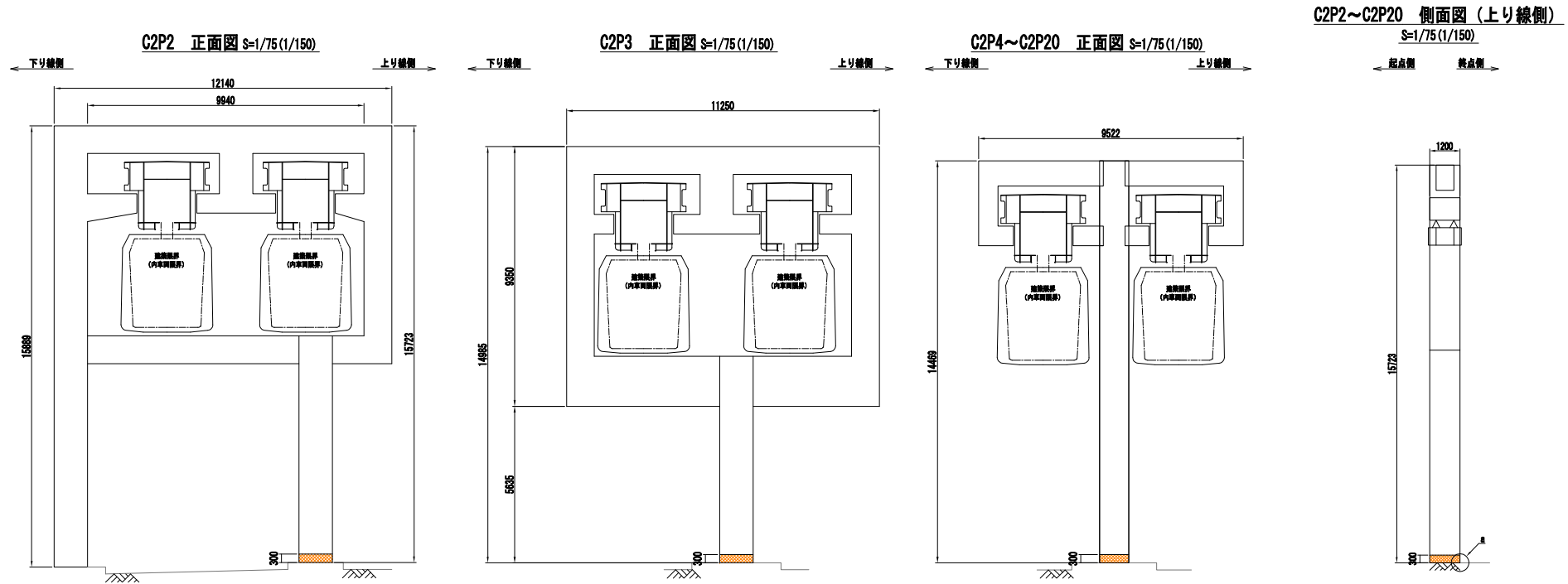
工事監理

千葉都市モノレールインフラ修繕管理課 (5工区)

図 示

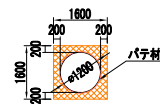
13

下部工塗替塗装工図-6 (支柱 C2P2~C2P7, C2P9~17, C2P19~C2P20)

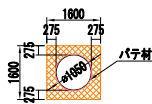


支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)

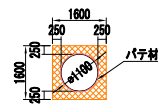
C2P2~C2P3, C2P7~C2P12, C2P16, C2P19



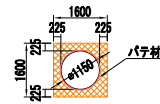
C2P4, C2P14



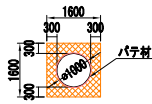
C2P5



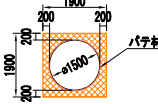
C2P6, C2P13, C2P15



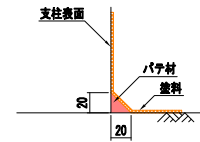
C2P17



C2P20



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



塗装仕様 (基部)

素地調整	4mm
4時間以内	素地調整剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、B-7
3時間~3日	パテ処理
直ちに~7日	柔軟型エポキシ樹脂パテ
	300g/m (鋼/コンクリート接合部のみ)
下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料
	1000g/m ² 、はけ、B-7
3時間~7日	上塗
	珪素樹脂形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)
	120g/m ² 、はけ、B-7

注記)

- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づいたものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整剤は、樹脂13%とし、樹脂にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、細線等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の補修上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分帯帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - ・歩道部・施設部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (夜間施工・基部・地上作業)

千葉都市モノレール株式会社

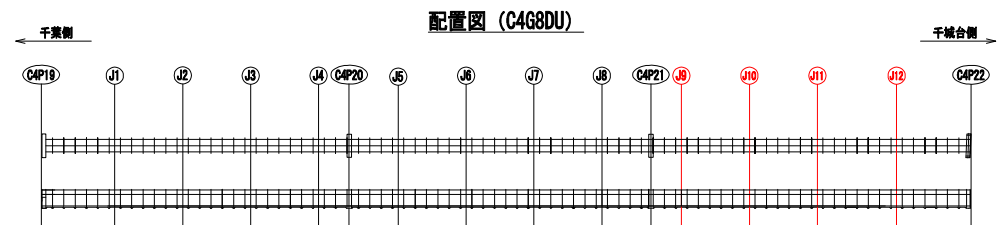
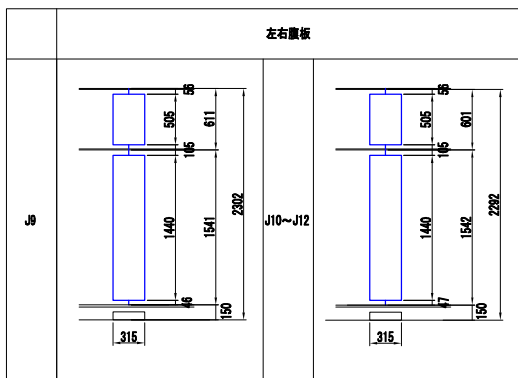
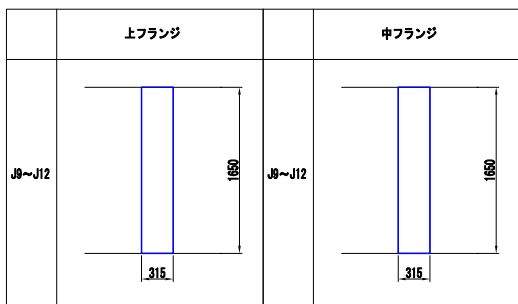
千葉都市モノレールインフラ修繕管理工務 (5工区)

下部工塗替塗装工図-6

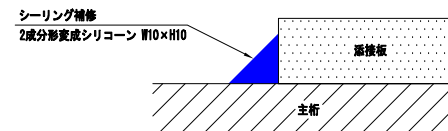
図示 14

シーリング補修工図-1

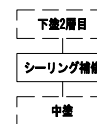
添接板 (C4G8DU) s=1/25 (1/50)



シーリング補修 詳細図



施工フロー



凡 例

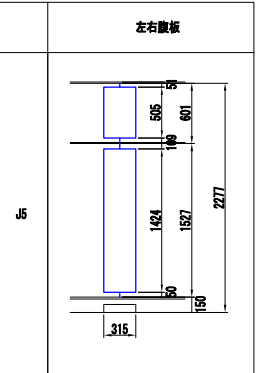
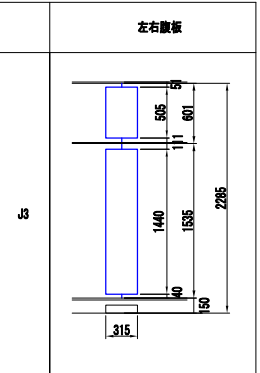
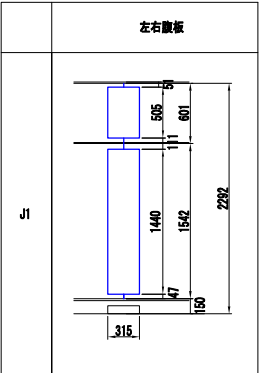
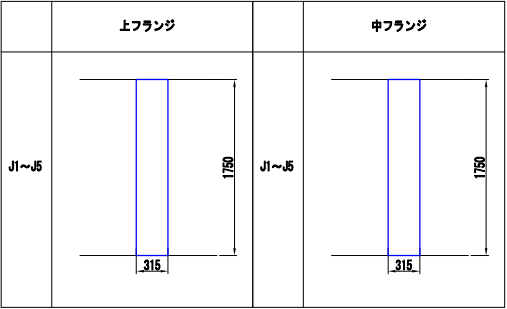
表 示	塗 装 仕 様
—	シーリング補修 (2成分形変成シリコン W10×H10)

注記)

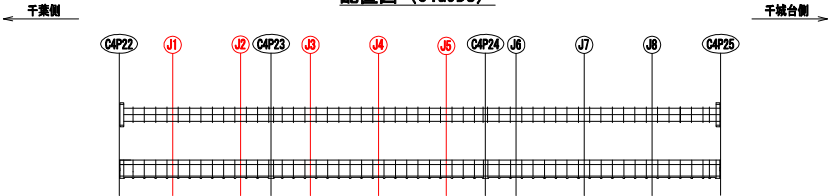
1. ①内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

シーリング補修工図-2
(軌道桁 添接板)

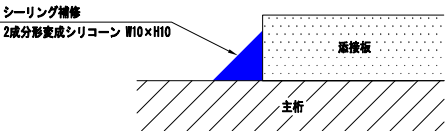
添接板 (C4G9DU) S=1/25 (1/50)



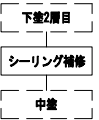
配置図 (C4G9DU)



シーリング補修 詳細図



施工フロー

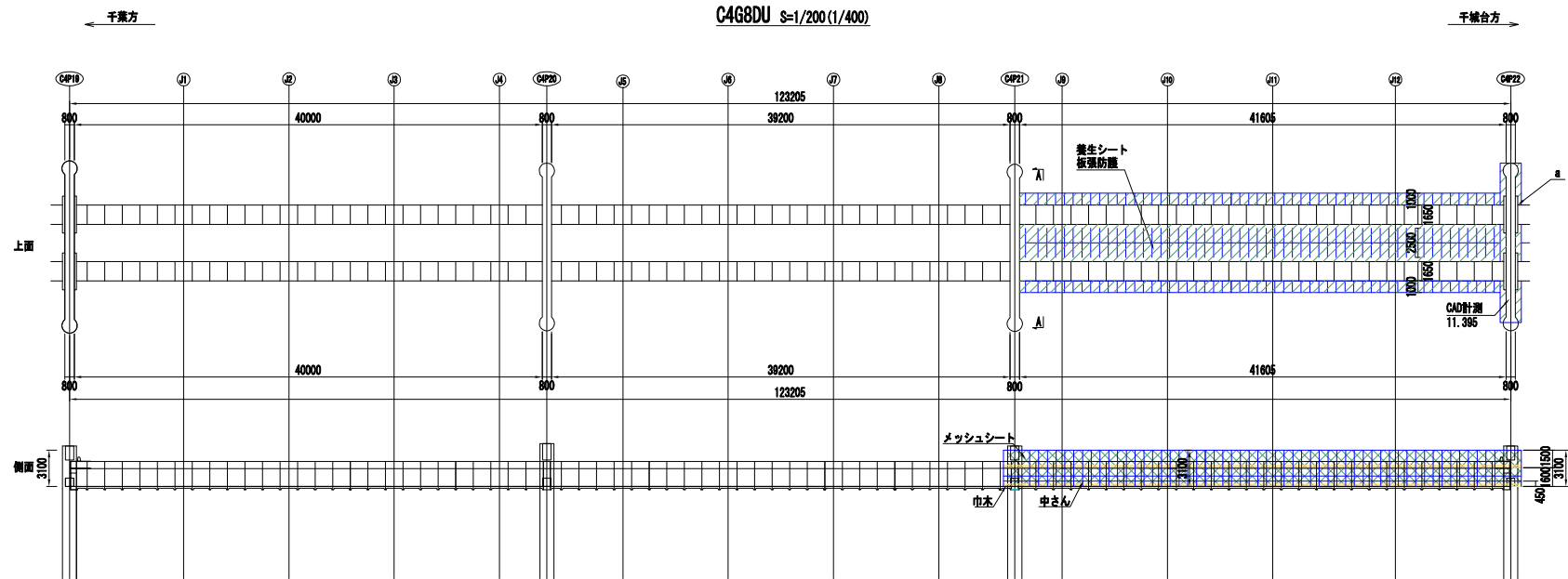


凡 例

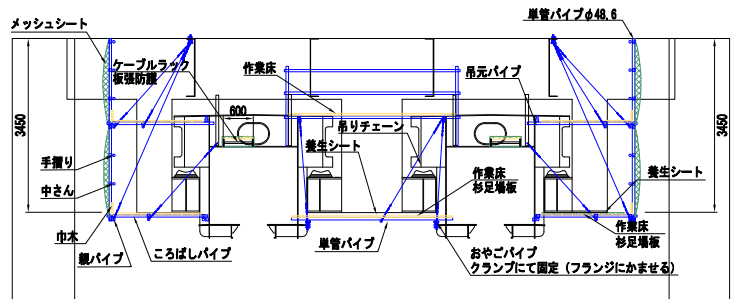
表 示	塗 装 仕 様
	シーリング補修 (2成分形変成シリコン W10×H10)

- 注記)
- 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

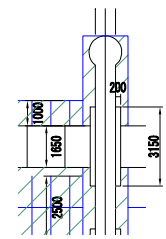
足場仮設計画図-1
(軌道桁 C4G8DU)



断面図 S=1/50 (1/100)
A-A 断面図



a部詳細図 S=1/100 (1/200)

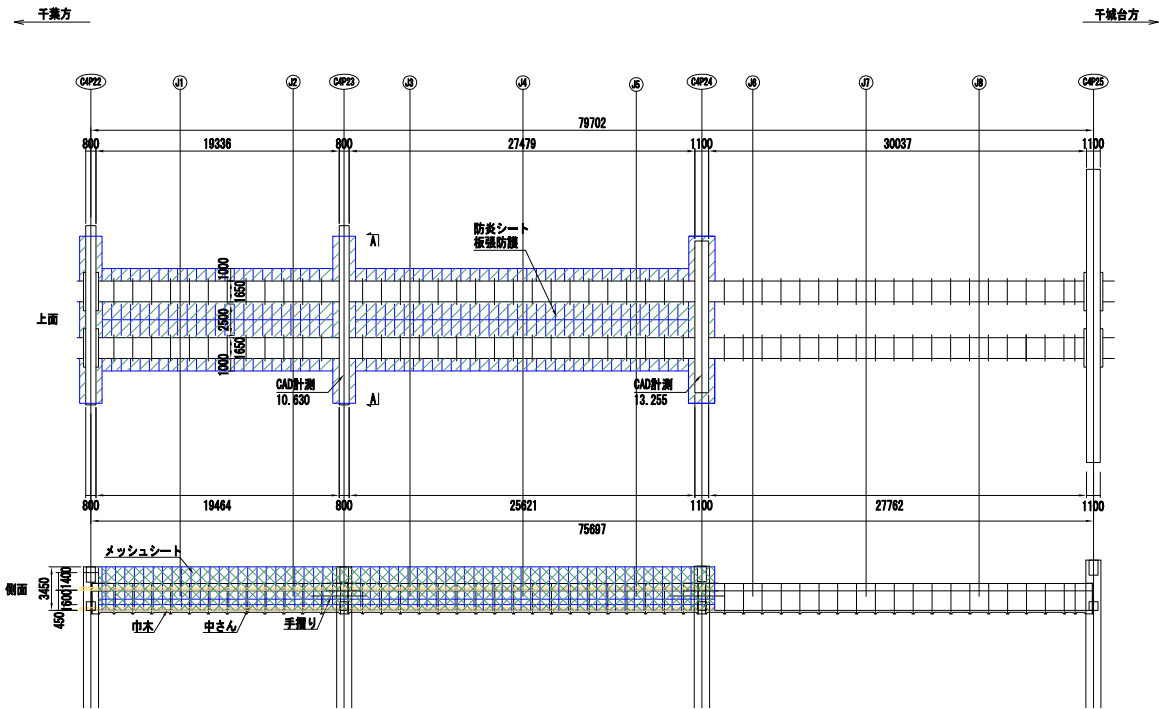


注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

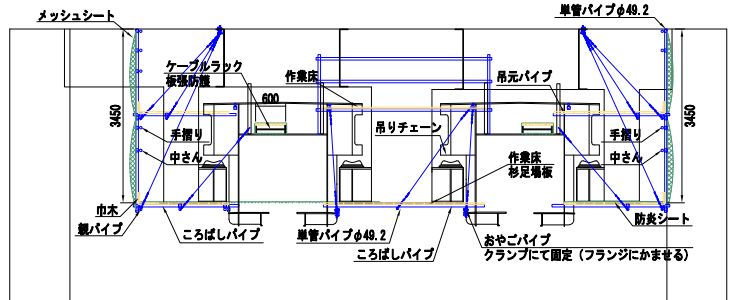
千葉都市モノレール株式会社				千葉都市モノレールインフラ整備管理課工事(5工区)				足場仮設計画図-1			
■				管理	設計	図面	工事番号	図示	備考	参考図-1	
■							工事内容				

足場仮設計画図-2
(軌道桁 C4G9DU)

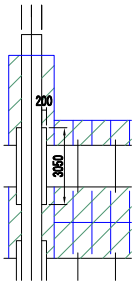
C4G9DU S=1/200 (1/400)



断面図 S=1/50 (1/100)
A-A 断面図



a部詳細図 S=1/100 (1/200)

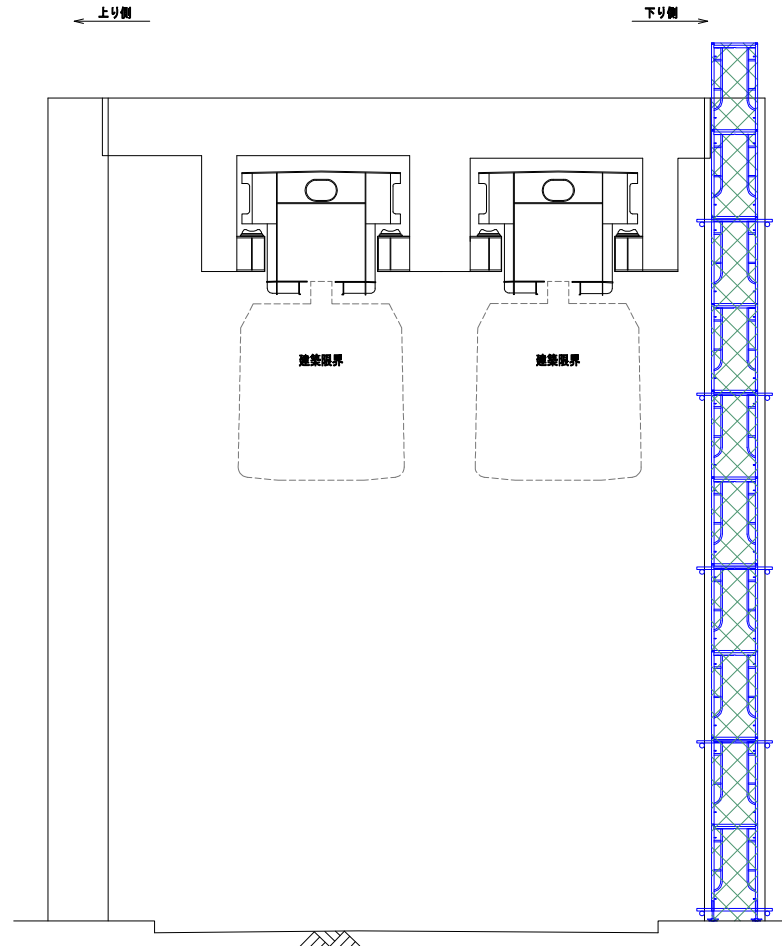


- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手続について受注者の責任において定めるものとする。

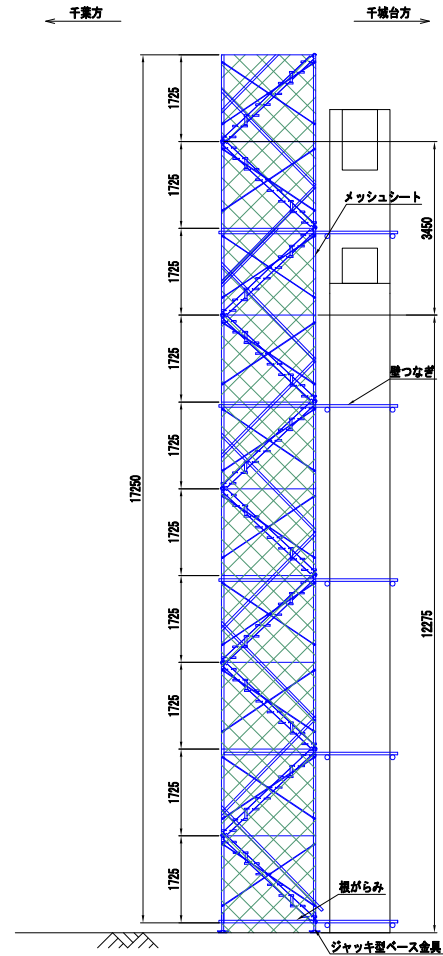
千葉都市モノレール株式会社				管理	図面	図例	工事名称	千葉都市モノレールインフラ修繕管理業務工事 (5工区)	図面名称	足場仮設計画図-2	図示	備考	参考図-2
							工事内容						

足場仮設計画図-3
(支柱 C4P23)

正面图 S=1/50 (1/100)



側面図 S=1/50 (1/100)



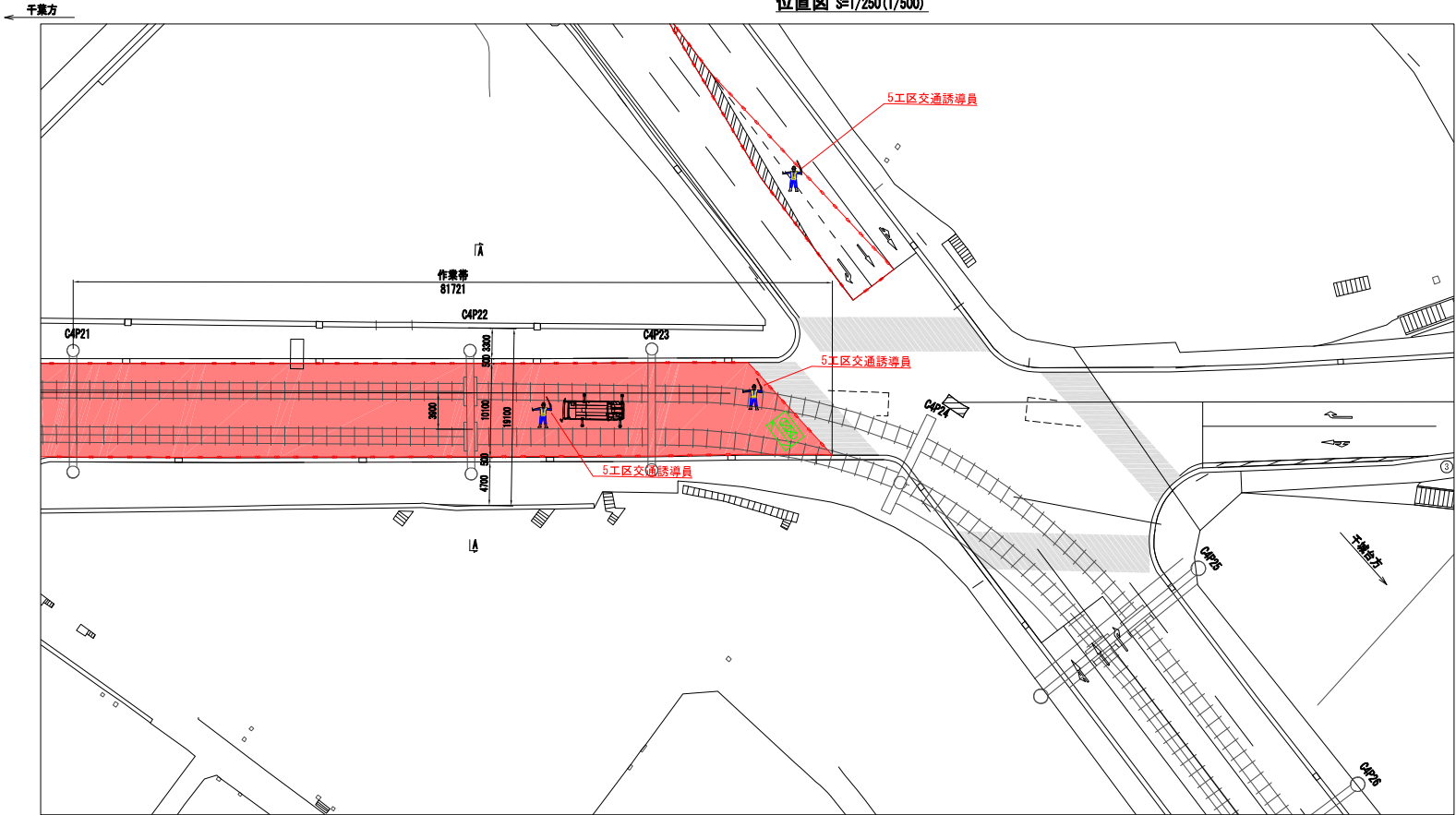
注記)

2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
3. 足場は、建築境界に支障しない範囲で仮設すること。

目次			千葉県モノ／レール株式会社	管理	監理	設計	工事内容	千葉県モノ／レールインフラ整備推進工事業 (5工区)	図名	足場仮設計計画図-3	図示	参照図-3
							工事内容					

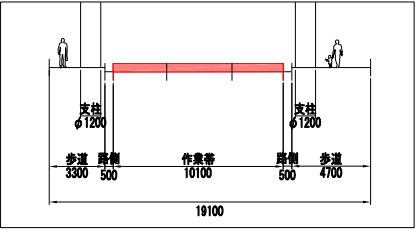
交通規制図①<参考図>
(5工区)

位置図 S=1/250(1/500)



断面図 S=1/150(1/300)

A-A



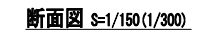
<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
ト	バリケード
人	交通誘導員
⑧	標識車又は大型電光式工事標識板
→	車両進行方向

注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手順について受注者の責任において定めるものとする。

千葉都市モノレール株式会社				管理	監理	設計	工事実施	千葉都市モノレールインフラ修繕管理工事業(5工区)	図面名称	交通規制図①<参考図>	図示	参考図-4
---------------	--	--	--	----	----	----	------	---------------------------	------	-------------	----	-------

位置図 S=1/250(1/500)



A-A

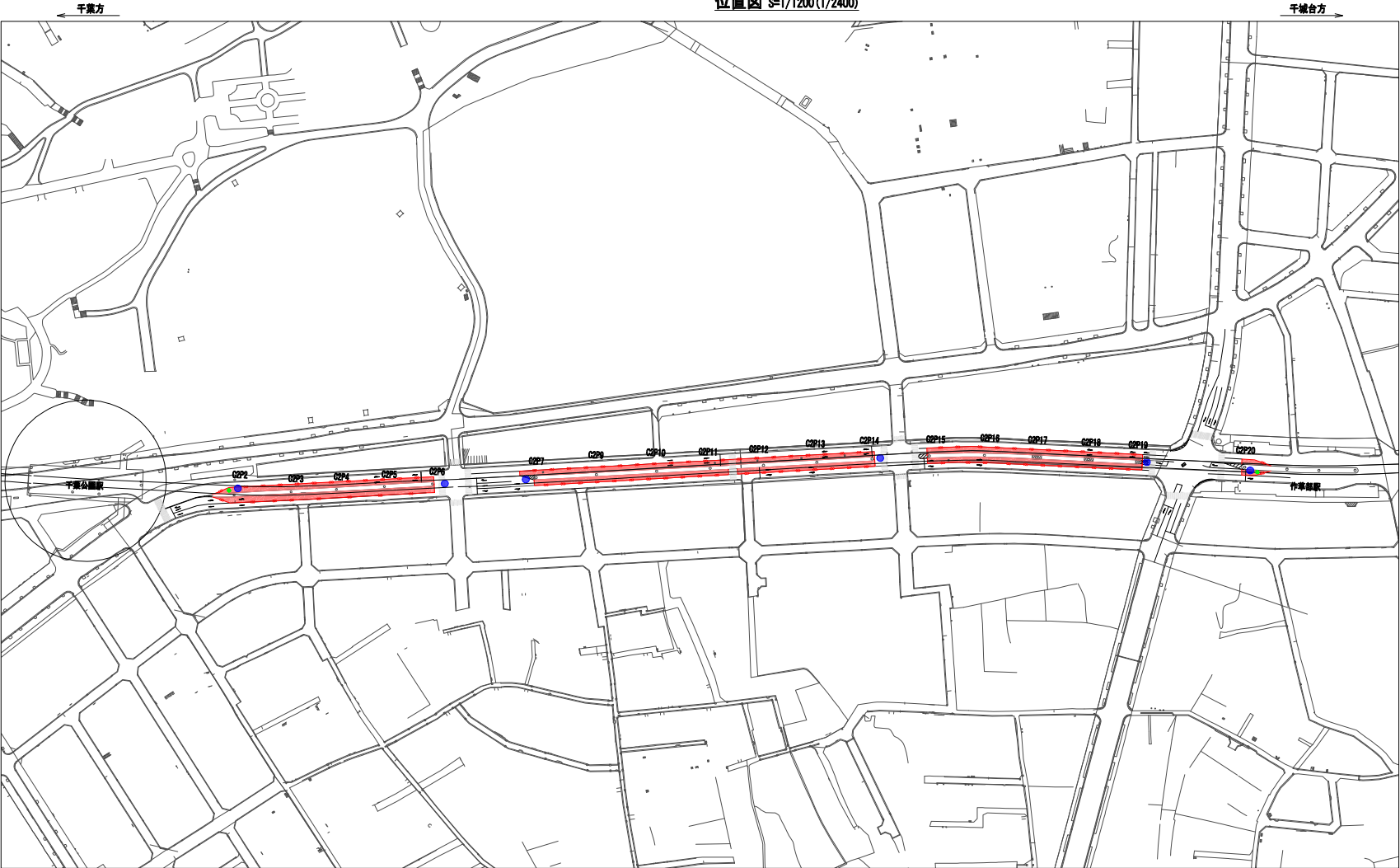


注記)

1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手順について受注者の責任において定めるものとする。

交通規制図③<参考図>
(5工区)

位置図 S=1/1200(1/2400)



<凡例>

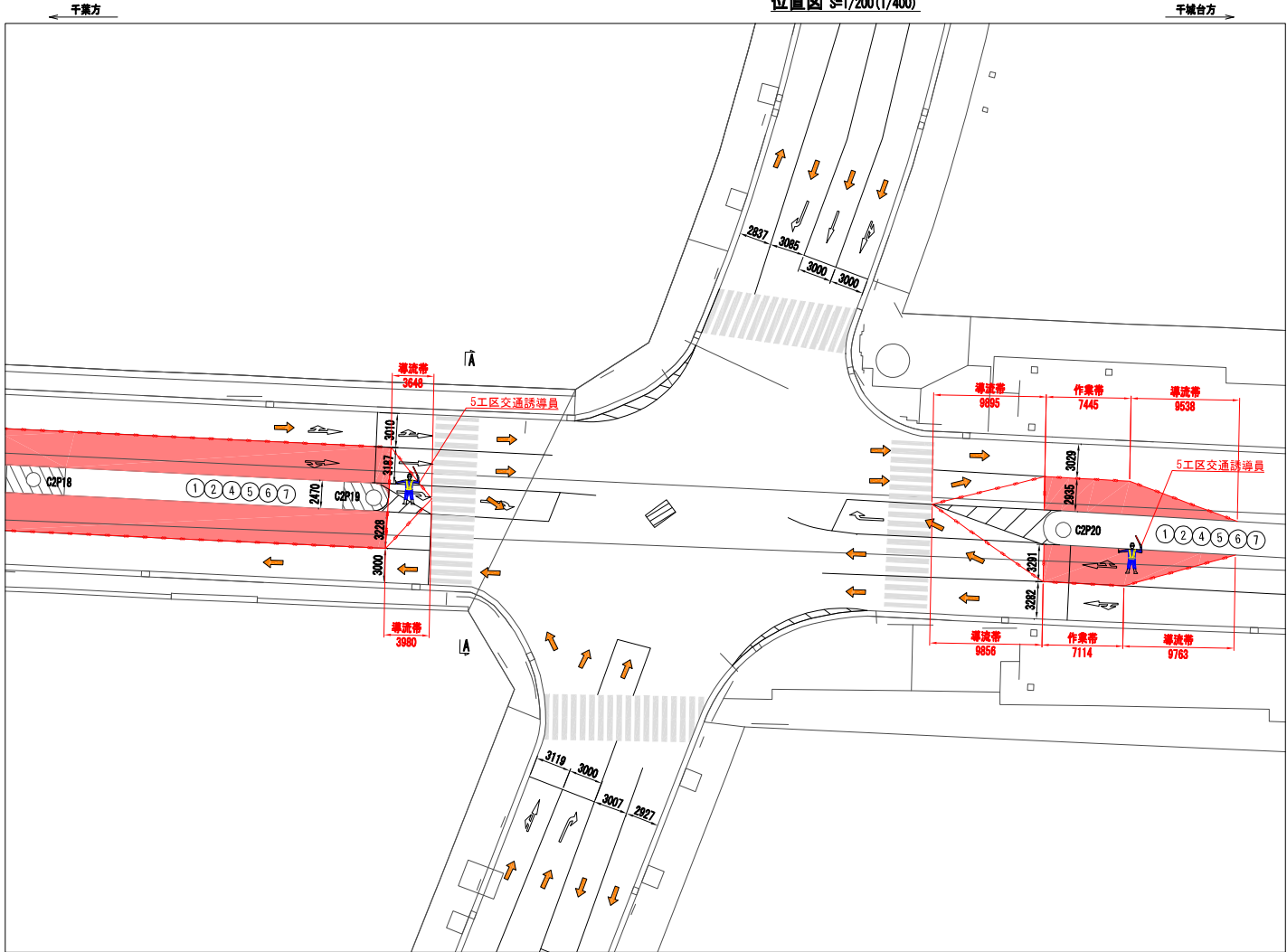
①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
—	バリケード
●	交通誘導員
●	標識車又は大型電光式工事標示板
⇄	車両進行方向

注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、
交通規制方法等一切の手順について受注者の責任において定めるものとする。

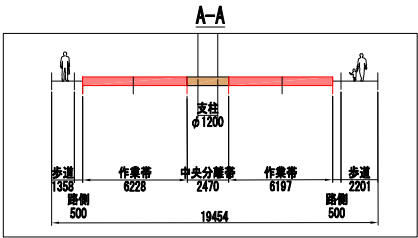
千葉都市モノレール株式会社				管理	調査	図面	工事名称	千葉都市モノレールインフラ修繕管理業務工事 (5工区)	図面名称	交通規制図③<参考図>	図示	備考
							工事種別					参考図-6

交通規制図④<参考図>
(5工区)

位置図 S=1/200(1/400)



断面図 S=1/150(1/300)



<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
＜	バリケード
人	交通誘導員
緑	標識車又は大型電光式工事標示板
→	車両進行方向

注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

千歳都市モノレール株式会社	千歳都市モノレールインフラ修繕管理施工 (5工区)	図面名称	交通規制図④<参考図>	図示	参考図-7
---------------	------------------------------	------	-------------	----	-------